

＜基本情報①(自治体情報)＞

都道府県市名 政令都市・中核都市名	佐賀県		
高校入試 担当部署名	教育委員会事務局 学校教育課 高校教育担当		
TEL	0952-25-7227	FAX	0952-25-7286
URL	https://www.pref.saga.lg.jp/kyouiku/list01907.html		

＜基本情報②(担当した有志の会メンバー情報)＞

調査担当者名	早瀬 郁子 (所属: 佐賀県日本語学習支援”カスターネット”)
--------	----------------------------------

＜全国一覧掲載情報＞

	Ⅰ 全日制高校について						Ⅱ 定時制高校について					
	A.外国人生徒		B.中国・サハリン帰国生徒		C.海外帰国生徒		D.外国人生徒		E.中国・サハリン帰国生徒		F.海外帰国生徒	
	A2-1.措置	A3-1.枠	B2-1.措置	B3-1.枠	C2-1措置	C3-1.枠	D2-1.措置	D3-1.枠	E2-1.措置	E3-1.枠	F2-1.措置	F3-1.枠
1. 設置されているか(2-1、3-1と一致)	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×
2. 国籍要件の有無(一部条件がある場合は備考に記入)	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし		なし		なし	
3. 定員の確保がされているか(3-5の記入欄番号①②から1つ選択、枠がない場合は無記入)	①定員内				①定員内							

I 全日制高校について

		A.外国人生徒	B.中国・サハリン帰国生徒	C.海外帰国生徒
1.2024年度中について、当該項目の生徒の在籍の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択		有	把握せず	把握せず
2-1.2025年度の一般入試において、当該項目の生徒の受けられる入試特別措置の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質受けられる、等)の場合は「2-1の備考」に明記		○	○	○
2-1の名称		帰国・外国人生徒等志願者に対する特例措置	帰国・外国人生徒等志願者に対する特例措置	帰国・外国人生徒等志願者に対する特例措置
2-1の備考 2-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記				
2-2.滞日年数制限		原則として以下の条件A、B両方にあてはまる人で、特例措置を希望する人です。 申請があった場合は、佐賀県教育委員会で審査し、決定します。 条件A:海外に引き続き2年6月以上在留した帰国生徒及び外国人生徒等 条件B:平成31年(2019年)2月1日以降に帰国又は入国した者	原則として以下の条件A、B両方にあてはまる人で、特例措置を希望する人です。 申請があった場合は、佐賀県教育委員会で審査し、決定します。 条件A:海外に引き続き2年6月以上在留した帰国生徒及び外国人生徒等 条件B:平成31年(2019年)2月1日以降に帰国又は入国した者	原則として以下の条件A、B両方にあてはまる人で、特例措置を希望する人です。 申請があった場合は、佐賀県教育委員会で審査し、決定します。 条件A:海外に引き続き2年6月以上在留した帰国生徒及び外国人生徒等 条件B:平成31年(2019年)2月1日以降に帰国又は入国した者
2-3.措置の内容		【特別選抜】 時間延長、漢字のふりがな 【一般選抜】 3教科受検、時間延長、漢字のふりがな ※審査の上で決定	【特別選抜】 時間延長、漢字のふりがな 【一般選抜】 3教科受検、時間延長、漢字のふりがな ※審査の上で決定	【特別選抜】 時間延長、漢字のふりがな 【一般選抜】 3教科受検、時間延長、漢字のふりがな ※審査の上で決定
2-4.2024年度の入試において、当該の措置で、日本語指導が必要な生徒が受検(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択		無	無	無
3-1.2025年度の入試において、当該項目の生徒を対象とした特別入学枠の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質対象となる、等)の場合は「3-1の備考」に明記		○	○	○
3-1の名称		一般選抜 帰国・外国人生徒等募集枠	一般選抜 帰国・外国人生徒等募集枠	一般選抜 帰国・外国人生徒等募集枠
3-1の備考 3-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記				
3-2.滞日年数制限		原則として次の(a)(b)両方の条件にあてはまる者とします。なお、条件にあてはまらないと思われる場合でも、佐賀県教育委員会で申請された内容を審査し、受検資格がある者と認める場合があります。 (a) 海外に引き続き2年6月以上在留した帰国生徒及び外国人生徒等 (b) 令和4年(2022年)2月1日以降に帰国又は入国した者	原則として次の(a)(b)両方の条件にあてはまる者とします。なお、条件にあてはまらないと思われる場合でも、佐賀県教育委員会で申請された内容を審査し、受検資格がある者と認める場合があります。 (a) 海外に引き続き2年6月以上在留した帰国生徒及び外国人生徒等 (b) 令和4年(2022年)2月1日以降に帰国又は入国した者	原則として次の(a)(b)両方の条件にあてはまる者とします。なお、条件にあてはまらないと思われる場合でも、佐賀県教育委員会で申請された内容を審査し、受検資格がある者と認める場合があります。 (a) 海外に引き続き2年6月以上在留した帰国生徒及び外国人生徒等 (b) 令和4年(2022年)2月1日以降に帰国又は入国した者
3-3.入学枠のある学校数/全学校数		1/32	1/32	1/32
3-4.学校名		佐賀県立三養基高等学校	佐賀県立三養基高等学校	佐賀県立三養基高等学校
3-5.定員 ※該当する方のみ記入	①定員内(枠内)	若干名	若干名	若干名
	②定員外(枠外)			
3-6.特別枠の定員数は明確となっており、かつその数まで合格を認めているか (定員数内で不合格を出さない内規等があるか) ※○×から1つ選択		×	×	×
3-7.試験内容		作文(日本語)、外国語(英語)、数学	作文(日本語)、外国語(英語)、数学	作文(日本語)、外国語(英語)、数学
3-8.2024年度の入試において、当該の枠で、日本語指導が必要な生徒が受検(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択		無	無	無
その他補足事項 ※措置や枠がある地域については、2024年度の入試別の受験者数・合格者数、その他事項などを記入				

Ⅱ 定時制高校について

	D.外国人生徒	E.中国・サハリン帰国生徒	F.海外帰国生徒
1.2024年度中について、 当該項目の生徒の在籍の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択	無	無	無
2-1.2025年度の一般入試において、 当該項目の生徒の受けられる入試特別措置の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質受けられる、等)の場合は「2-1の備考」に明記	○	○	○
2-1の名称	帰国・外国人生徒等志願者に対する特例措置	帰国・外国人生徒等志願者に対する特例措置	帰国・外国人生徒等志願者に対する特例措置
2-1の備考 2-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記			
2-2.滞日年数制限	原則として以下の条件A、B両方にあてはまる人で、特例措置を希望する人です。 申請があった場合は、佐賀県教育委員会で審査し、決定します。 条件A:海外に引き続き2年6月以上在留した帰国生徒及び外国人生徒等 条件B:平成31年(2019年)2月1日以降に帰国又は入国した者	原則として以下の条件A、B両方にあてはまる人で、特例措置を希望する人です。 申請があった場合は、佐賀県教育委員会で審査し、決定します。 条件A:海外に引き続き2年6月以上在留した帰国生徒及び外国人生徒等 条件B:平成31年(2019年)2月1日以降に帰国又は入国した者	原則として以下の条件A、B両方にあてはまる人で、特例措置を希望する人です。 申請があった場合は、佐賀県教育委員会で審査し、決定します。 条件A:海外に引き続き2年6月以上在留した帰国生徒及び外国人生徒等 条件B:平成31年(2019年)2月1日以降に帰国又は入国した者
2-3.措置の内容	【特別選抜】 時間延長、漢字のふりがな 【一般選抜】 3教科受検、時間延長、漢字のふりがな ※審査の上で決定	【特別選抜】 時間延長、漢字のふりがな 【一般選抜】 3教科受検、時間延長、漢字のふりがな ※審査の上で決定	【特別選抜】 時間延長、漢字のふりがな 【一般選抜】 3教科受検、時間延長、漢字のふりがな ※審査の上で決定
2-4.2024年度の入試において、当該の措置で、日本語指導が必要な生徒が受検(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択	無	無	無
3-1.2025年度の入試において、当該項目の生徒を対象とした特別入学籍の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質対象となる、等)の場合は「3-1の備考」に明記	×	×	×
3-1の名称			
3-1の備考 3-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記			
3-2.滞日年数制限			
3-3.入学籍のある学校数／全学校数			
3-4.学校名			
3-5.定員 ※該当する方のみ記入	①定員内(枠内)		
	②定員外(枠外)		
3-6.特別枠の定員数は明確となっており、かつその数まで合格を認めているか (定員数内で不合格を出さない内規等があるか) ※○×から1つ選択			
3-7.試験内容			
3-8.2024年度の入試において、当該の枠で、日本語指導が必要な生徒が受検(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択			
その他補足事項 ※措置や枠がある地域については、 2024年度の入試別の受験者数・合格者数、その他事項などを記入			

Ⅲ 高校入学後の状況

1-1.日本語指導が必要な生徒に対して、入学後の日本語や教科の支援(補習等)にかかわる当該自治体の施策の有無 ※有・無から1つ選択	無	
1-2.有の場合、その施策の具体的な内容 ※該当する項目にチェック	☐	A.教育課程に位置づけられた日本語授業(特別的教育課程、学校設定科目、個別対応授業など単位として認定されるもの)の実施
	☐	B.教科学習において個別対応や習熟度別の授業を実施
	☐	C.母語(継承語)保持のための授業の実施
	☐	D.担当教員の加配
	☐	E.日本語の授業などの講師や支援者の雇用
	☐	F.母語(継承語)の支援のための講師や支援者の雇用
	☐	G.その他外部支援者(コーディネーターなど)の雇用
	☐	H.日本語指導が必要な生徒を対象としたキャリア教育(出口支援)
	その他の施策	
	上記に該当する実施校の校数等	
補足事項		
2-1.「1-2のA」において 特別的教育課程 での日本語授業を行っている?		
2-2.行っている場合、実施校数、実施高校名		
2-3.行っていない場合、今後、教育委員会として実施計画はあるか? ある場合は、その実施予定年度、予定高校数など		
3.自治体の施策ではないが、各学校で個別に実施していることがあれば記入		
4.2024年度の入試において、海外で中学相当(学校教育における9年の課程)を修了し、来日後直接高校受検(受験)した者の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択、有りの場合はその人数も記入	無	
5.2023年度中に、直接来日後による編入学者の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択、有りの場合は、その人数も記入	無	

Ⅳ日本国内にある外国学校からの入学について		
	↓記入欄	備考
1-1.各種学校の認可を得た外国学校の中等部の卒業生について、高校受験(受験)者資格を認めているか否か ただし、中卒認定試験の合格を以って認めている場合は除く。 ※認めているは○印、認めていないは×印のいずれかで記入し、認めていない場合はその理由を備考に記入。検討中あるいは未決定の場合は△を記入し、備考に明記	○	
1-2. 1-1で認めている場合 ※①～④からいずれかを選択 ①外国学校中等部の卒業生には、そのまま他の生徒と同様に高校入学選抜の受験(受験)を認めている(外国学校の指定その他の条件を付している場合はその条件を記載) ②学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認を、中卒認定試験・外国人特別入試等とは別途、高校入試に先立って行っている。 ③上記②を実施しておらず、外国人特別入試等を実施し、この合格をもって学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認としている。 ④その他(方法を備考欄に記入)	①	
2-1.各種学校ではないが、本国政府の認可を得た外国学校の中等部の卒業生について、高校受験(受験)者資格を認めているか否か ただし、中卒認定試験の合格を以って認めている場合は除く。 ※認めているは○印、認めていないは×印のいずれかで記入し、認めていない場合はその理由を備考に記入。検討中あるいは未決定の場合は△を記入し、備考に明記	○	
2-2. 2-1で認めている場合 ※①～④からいずれかを選択 ①外国学校中等部の卒業生には、そのまま他の生徒と同様に高校入学選抜の受験(受験)を認めている(外国学校の指定その他の条件を付している場合はその条件を記載) ②学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認を、中卒認定試験・外国人特別入試等とは別途、高校入試に先立って行っている。 ③上記②を実施しておらず、外国人特別入試等を実施し、この合格をもって学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認としている。 ④その他(方法を備考欄に記入)	①	
3.上記のⅠⅡ特別措置と入学枠での滞日年数制限について、日本国内にある外国学校の在籍期間は、日本での在学期間を含むか否か ※日本での滞在期間に含むは「含む」、滞在期間に含めないは「含めない」のいずれかで記入	含む	
4.外国学校の中等部の卒業生について、2024年度入試において受験(受験)希望があったか ※あった場合「有」を記入、備考にその人数を記入。なかった場合は「無」を記入。把握していない場合は「把握せず」	無	

V 調査した人からのコメントや関係者の皆さんへお知らせ

※各地域を担当されている皆さんだから知っている地域情報を、皆さんの視点からご記入いただきたいです。

「他地域から皆さんが担当する地域に引越予定をしている中2の外国人生徒とその保護者に伝えたい情報」という想定で、いずれも公開されている情報について、ご無理のない範囲で、ご記入ください。

1.日本語指導が必要な生徒の状況について、支援者の立場から、高校受験(受験)や高校進学に困難なケースや高校入試及び入学後の支援に関して課題と感じていること 高校入試や高校入学後の支援に関して、教育委員会や高校に期待すること	・昨年度から「特別枠」が1校設置されたことは、散在地域である佐賀県にとって大きな一歩であったと思います。しかし、昨年度は対象生徒が不在であったという現実があります。今後も増えていくであろう外国人生徒が公平に高校進学ができるように、特別枠を各地域に広げる検討をしてほしいと思います。 ・特別措置は以前から行われていましたが、外国人生徒の高校進学がより可能になるよう、受験科目の見直しを検討してほしいです。 ・特別枠の高校だけでなく、日本語指導が必要な生徒が存在すると思います。高等学校における日本語指導体制の整備をしてほしいです。
2.日本語指導が必要な生徒を受け入れている私立高校の情報や課題など	私立高校においても、日本語指導が必要な生徒が存在します。その生徒に対し、高校入学後も引き続き日本語指導が可能なように特別の教育課程を整備してほしいです。
3.外国人生徒の高校入試などについて、近くで相談できるところ ※担当地域内の団体名やURLなどを記入ください	・佐賀県教育庁 学校教育課高校教育担当 ・さが♡わーるどりんぐ https://worldringsaga.wixsite.com/~site-1
4.多言語による関連情報 ※担当地域の自治体やNPOなどで公開されているものがあれば、URLなどを記入ください。	佐賀県国際交流協会 https://www.spira.or.jp/ ・生活ガイド https://www.spira.or.jp/guide-a-living/ ・多言語コールセンター https://www.spira.or.jp/medicalinterpreter/ ・さが多文化共生センター Tel:0952-22-7830
5.公立高校入試の特別措置や特別入学枠の設置のこれまでの経緯 ※〇〇年に特別措置が導入された(その内容)、〇〇年に特別措置が改善された(内容)、〇〇年に特別入試枠が導入された(内容)、〇〇年に特別入学枠の校数が〇校になった。・・・などのこれまでの経過について、わかる範囲で簡潔にご記入ください。詳しい内容が掲載されているホームページがあれば、記載してください。	・2024年度入試より、特別枠入試が県内で1校導入された。
6.その他 ※「こんな情報もあるよ!」ということ、メッセージや助言などがあれば、調査した人からの目線でぜひご記入ください。なお、そのままホームページには掲載致します。	・佐賀県日本語学習支援“カスタネット” 「ガイドブック佐賀～中学校編」 https://castanetnihongo.jimdofree.com/